

6-7 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果 (2007年5月～2007年10月)

Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (May, 2007 ~ October, 2007)

産業技術総合研究所
Geological Survey of Japan, AIST

1. 観測概要

産業技術総合研究所は跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している(第1図)。

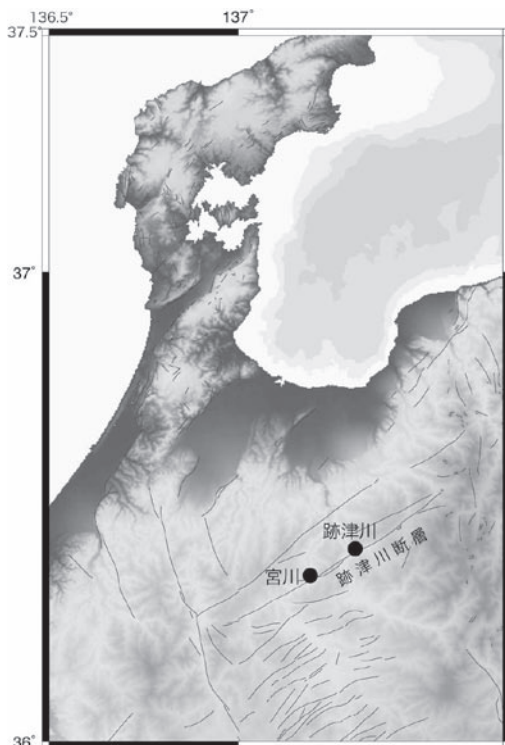
宮川は跡津川断層のロック部に位置する。深度約300mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計(1 Hz, 3成分速度計)を設置。また、深度256.78～267.66 mの滞水層での地下水位と、歪と独立な体積温度計の計測も行なっている。

跡津川は跡津川断層のクリープ部に位置する。坑道内に深度約50mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計を設置。また、地下水位と、歪と独立な体積温度計の計測も行っている。

2. 観測結果概要

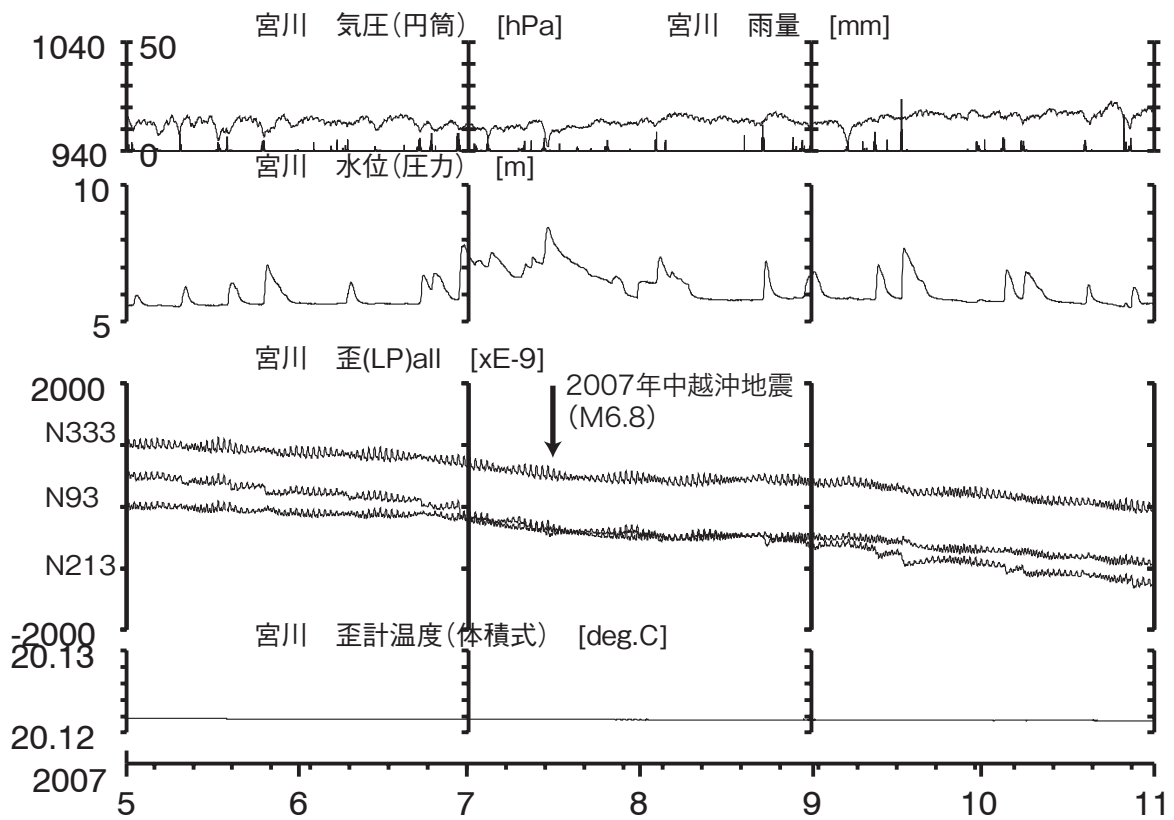
宮川(第2図): 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。

跡津川(第3図): 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2002年4月初旬から数カ月周期の温度, 歪の不安定な変動が続いている。2007年7月16日中越沖地震時に $5E-9$ ～ $7E-9$ 程度の歪ステップと約3cmの水位上昇が観測された。

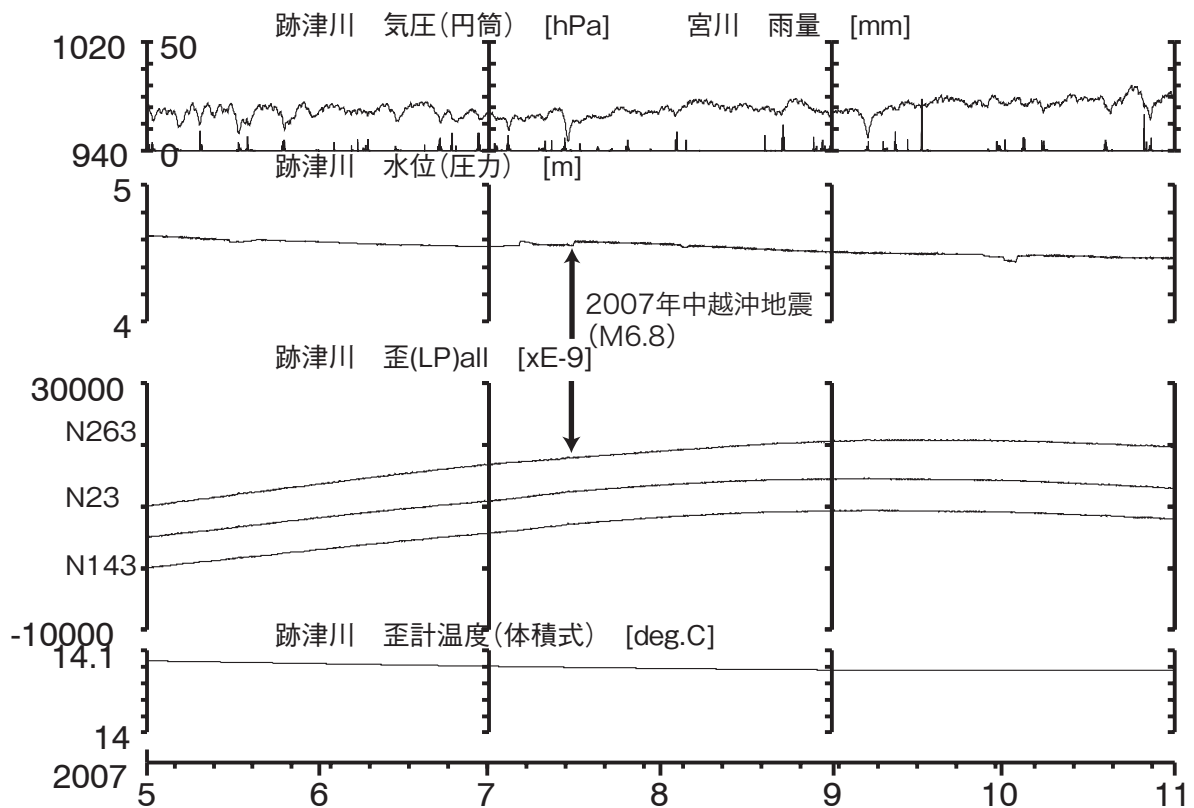


第1図 跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

Fig.1 Location map of the observation boreholes at Miyagawa and Atotsugawa along the Atotsugawa fault.



第2図 宮川における歪観測結果 (6 カ月間)
 Fig.2 Results of strain meters at Miyagawa (for 6 months).



第3図 跡津川における歪観測結果 (6 カ月間). 2002年4月以後歪み計温度が不安定であり, 歪データも不安定となった.

Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 6 months).